

# 前川喜平さん講演会

2023年

3月11日(土) 18:00-20:30/ さくらホール

(国立駅南口徒歩3分, 商協ビル)

# 教育の自由と人権・ 平和憲法を守るために

## 1部 講演

前川喜平さん

(元文部科学事務次官)



## 2部 対談

「地域でできること  
ソーシャルインクルージョンのまちづくり」



前川喜平さん

上村和子 (国立市議会議員)

- ◆コロナパンデミックの影響は深刻でした。追い打ちをかけるように、ロシアのウクライナ侵攻を一つのきっかけとする、戦争への危機、経済危機、暮らしの危機、地球温暖化・気候変動など環境の危機、災害の危機があります。そして、そのようなあらゆる危機からいのちを守るために責任を負うべき政治、とりわけ、国政の危機があります。
- ◆岸田政権になっても、安倍・菅政権での政治の私物化や人権意識のなさによる事件が続き、憲法9条に反する攻撃能力を有する基地の配置、多量の武器購入など戦争できる体制整備や原発の延命化・新設への動き、旧統一教会と自民党の癒着等、目を覆いたくなる惨状です。
- ◆安倍・菅政治の危うさを近くで見ていた前川喜平さんは、辞職してからは、政権の危うさの告発を続け、腐敗した政権をそのままにしておくことは民主主義の終わりを意味する、主権者としてしっかり行動しようと呼びかけ続けています。いま私たちがいちばん話を聞きたい人です。
- ◆平和・人権の憲法を守り、教育の自由を保障し、憲法にある地方自治の力を最大限発動して、暮らしの場から政権の暴走を止め、生きる権利を市民の手で守っていくために、できることは何か、前川喜平さんのお話を聞いて考えます。ご参加お待ちしております。(申込み先着順)

(まえかわ きへい)

1955年生まれ。東京大学法学部卒業後、文部省(現・文部科学省)入省。大臣官房長、初等中等教育局長、文部科学事務次官などを歴任、2017年退官。現在、現代教育行政研究会代表。自主夜間中学スタッフとしても活動。

著書:『コロナ期の学校と教育政策』、『日本の教育、どうしてこうなった?』(共著)、『権力は腐敗する』、『前川喜平 教育のなかのマイノリティを語る』(共著)、ほか多数



主催「生きる権利を市民の手で!」の会

会場参加 1000円 (経済的に困難な方はご相談ください) / オンライン無料(カンパ)

会場参加申込み・問合せ ☎ 042-576-4015 (田島) / オンライン参加申込み(3/9 締切) ikiken2023@gmail.com